

# 香美市、下妻市とのこれまでの交流



さくらてんし  
香美市イメージキャラクター  
©やなせたかし

問合せ 総務課 ☎ 73-8003

姉妹都市とは、親善や文化交流を目的とした特別な関係を結んだ都市のことです。あわらは市は、中華人民共和国浙江省紹興市、高知県香美市、茨城県下妻市の国内外の3都市と関係を結んでいます。このうち、高知県香美市と茨城県下妻市とは、災害時の相互応援に関する協定も同時に締結しています。

## 【高知県香美市】 姉妹都市締結までの経緯と交流

昭和48年1月21日、旧国鉄の金沢鉄道管理局長（物部村出身）が高知県関係者に姉妹駅を提案しました。これを受けて、同年5月中旬に、北陸本線芦原温泉駅長から土佐山田駅長に文書で申し入れを行い、姉妹駅を結ぶこととなりました。同時に、芦原温泉駅を玄関とする旧3町（金津町・芦原町・三国町）と、土佐山田駅を玄関とする旧こうほく3町村（土佐山田町・香北町・物部村）との姉妹都市提携の話が進み、昭和48年8月2日、姉妹駅と姉妹都市の調印式が旧土佐山田町役場議場で行われ、以来、交流が続けてきました。

しかし、平成の大合併により旧金津町・旧芦原町はあわら市に、旧三国町は坂井市に、旧こうほく3町村は香美市となり、姉妹都市の枠組みが崩れたため、交流が途絶えました。その後、平成20年9月13日にあわら市

## … 高知県香美市 …

- 昭和48年1月21日 石川県金沢市で開催された「南国土佐観光物産展」の現地懇談会席上、旧国鉄の金沢鉄道管理局長（物部村出身）が高知県関係者に姉妹駅を提案
- 昭和48年5月中旬 北陸本線芦原温泉駅長から土佐山田駅長に文書で申し入れを行い、姉妹駅締結を決定。同時に、芦原温泉駅を玄関とする旧3町（金津町・芦原町・三国町）と、土佐山田駅を玄関とする旧こうほく3町村（土佐山田町・香北町・物部村）との姉妹都市提携の話が進む
- 昭和48年8月2日 姉妹駅と姉妹都市の調印式が旧土佐山田町役場議場で行われる
- 平成16年～ 平成の大合併により姉妹都市の枠組みが崩れ、交流が途絶える
- 平成20年9月13日 香美市が「あわら北潟湖畔観月の夕べ」に物産店を出店
- 平成21年3月1日 あわら市役所で姉妹都市調印式を執り行う。調印式後、「あわら市誕生5周年記念式典」で、姉妹都市を代表して門脇香美市長（当時）が祝辞を述べる



以後、  
・香美市が「あわら湯かけまつり」か「あわら北潟湖畔観月の夕べ」のどちらかに出店  
・あわら市が「刃物まつり & 山田のかかしコンテスト」に出店と、定期的に交流を続けている



土佐打刃物  
タンちゃん

## … 茨城県下妻市 …

- 平成25年4月22日 多賀谷左近三経公奉賛会が設立
- 平成26年4月13日 奉賛会のメンバーが「多賀谷時代まつり」を訪問。あわら市長も甲冑に身を包み、武者大名行列に参加
- 平成26年6月1日 下妻市市制施行60周年記念式典に、あわら市長が参列
- 平成27年中 両市議会を中心とする訪問団が相互に訪問
- 平成27年11月16日 茨城県下妻市役所で姉妹都市調印式を執り行う
- 平成28年7月16～18日 下妻市長をはじめとする下妻市の訪問団が、金津祭を見学。金津祭後日祭で、多賀谷左近三経公を中心とした武者行列を行う（18日）
- 平成29年6月4日 下妻市の訪問団が、多賀谷左近三経の400回忌法要に出席
- 平成29年6月5日 下妻市の観光ボランティアガイドのメンバーが、市内の語り部らと交流
- 平成29年8月23～25日 下妻市内の3中学校の生徒と教職員があわら市を訪問。金津、芦原中学校の生徒と交流（24日）  
※ 来年は、あわら市内の中学生と教職員が下妻市を訪問予定

### 多賀谷左近三経とは

徳川家康の次男・福井藩主結城秀康の重臣として仕え、慶長六年（1601年）に下妻から越前に入国。山十楽に館を構え、刀鍛冶や弓師、町人などを集め、大きなため池などを造り、村の中は多くの人でにぎわいました。治世の期間は6年余りと短い期間でしたが、現在も柿原の殿様として地元の人に親しまれています。



で開催された「あわら北潟湖畔観月の夕べ」に香美市が出店したことがきっかけとなり、あわら市誕生5周年に併せ、平成21年3月1日に、改めて姉妹都市の締結を行いました。以後、香美市が「あわら湯かけまつり」か「あわら北潟湖畔観月の夕べ」のどちらかに物産店を出店するのに対し、あわら市は「刃物まつり & 山田のかかしコンテスト」に物産店を出店するなど、毎年交流を重ねています。

## 【茨城県下妻市】

平成25年4月22日、多賀谷左近三経公の遺徳を顕彰するとともに、墓所の維持・整備を図ることを目的に、多賀谷左近三経公奉賛会が設立されました。そして、平成26年4月13日に下妻市で行われた「多賀谷時代まつり」に奉賛会のメンバーが訪問。あわら市長も甲冑に身を包み、武者大名行列に参加しました。

その後、同年6月1日に行われた下妻市市制施行60周年記念式典にあわら市長が参列。翌27年には両市議会を中心とする訪問団が相互に訪問するなど交流を進め、同年11月16日に姉妹都市の締結を行いました。姉妹都市としての歴史はまだ浅いですが、締結後、下妻市からの訪問団が何度もあわら市を訪れています。

## 今後の姉妹都市関係

今後は、両市の市民間の文化、産業など幅広い分野で、さらに交流を深めていきます。

市民同士の交流をさらに図りやすくするため、あわら市には姉妹都市訪問に対する補助制度があります。

## 姉妹都市との交流事業に補助金が使えます

市民が実施する姉妹都市との交流活動に対して補助金を交付します。

### 補助対象

- 市内に活動拠点のある市民5人以上で構成する団体
- 姉妹都市の団体との親善および交流を目的とするもの

### 補助対象経費および補助率

- ① 宿泊料（1人1泊 定額5000円）
- ② 交通費（鉄道賃の場合）  
10分の3以内か限度額1人当たり1万円のいずれか少ない金額
- ③ 車両借上料  
10分の3以内か限度額10万円のいずれか少ない金額

※ ②と③は、いずれかを選択

問合せ 詳しくは、市のホームページをご覧ください。

総務課 ☎ 73-8003



物部 アユちゃん

